

入学式ができて 本当によかった!



始業式ができてよかった！入学式ができてよかった！（卒業式もできてよかった！）新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの工夫と予防をして縮小して行いました。例年と違うのは、参加者は新入児童と保護者、職員、児童代表のみとしたことです。在校生代表の6年生は、ステージ上で劇をしたり、菊西ダンスを踊ったりしてくれましたよ。校歌斉唱は、事前に現3年生に歌ってもらい録画しておいたのでそれを流しました。また、例年保護者にも入っていたいた集合写真を児童のみにしました。お天気がよ



受付でアルコール消毒



保護者用椅子の消毒



集合写真撮影の様子

かったので、運動場で撮ることができました。保護者1名のみ、体育館から教室に移動し、担任の説明。教科書等を受け取り運動場へ。写真撮影後の新1年生と合流し親子で下校。入学式の日が終わりました。

菊陽西小だより

4月

NO. 3

R 2. 4. 14

菊陽町立

菊陽西小学校

文責：草場ルミ子

新1年生の下校見守り



菊陽西小学校では、毎年、入学式の翌日から1週間ほど、新1年生の下校の際に、各地区から地域の見守りボランティアの方々が学校に迎えに来られ、家まで送り届けて下さいます。新興住宅地の大規模校で、このような取組をしていただける学校はまずありません。西小校区は恵まれているなあと思います。今年度は、新型コロナウイルス感染症の心配もあり、「決して無理はされないで下さい。」と前もってお伝えしましたが、全地区お迎えに来ていただきました。4月14日午後から休校のため、見守りは10日金曜と13日月曜の2日間でした。13日は真冬のような寒さ、風も強く下校も大変でした。でも写真のような微笑ましい場面がたくさん見られました。

14日の下校は次の通りでした。①1年生は教室で待つ。②学童の子どもが学童へ移動。③お兄ちゃんお姉ちゃんがいる人は教室に迎えに来てもらう。④兄姉がいない人は登校班長に迎えに来てもらう。⑤2年生以上は、その後の下校。

登校班毎に帰す一斉下校がいいのですが、この方法は大勢が集まってしまし、大変時間がかかりますので、今回はこのようにしました。

とにかく、西小は渋滞を起こさないようにどうするか！をいつも一番に考えないといけません。ご理解下さいね。



4月9日付読売新聞には、菊陽西小学校の新学期の様子が掲載されました。机を互い違いに並べて間隔をとったり、窓を全開にしたり、教室に消毒用アルコールや消毒のための電解水（光の森ハイコム株式会社様から寄贈）が置いてあったりする中で学校が再開したことが書いてあります。

右の写真は、休校前日の4月13日の昼休み、運動場で遊ぶ子どもたちの様子です。真冬のような寒い日でしたが、たくさんの子どもたちが外で元気に遊んでいました。



4月30日には、お隣の肥後銀行グラウンドに遠足に行く計画でした。実施できず残念。早くコロナウイルス感染症が終息し、日常の学校生活が戻ることを心より願っています。

芝居の

始業式や入学式の日、今年担任する子どもたちと、先生たちは初めて出会います。風景が変わった校舎内を見て回っていると、私を見つけて、「先生、すげえです。子どもたち、ホントにかわいい。かわいくてたまらない。」「先生、すげえです。先生たち、ホントに素直で一生懸命で。うれし！」「とつともうれしです。先生たちはみんな学校が再開することを待ち望んでいます。普段は当たり前ですが、先生たちは、町を大人を、社会を活気づけてくれる存在だと改めて思った5日間でした。